

<カメラマンの皆様へ>

祭りの記憶を素敵な写真で残してくださり、いつもありがとうございます。

横浜よさこい祭りでは、踊り子が気持ちよく演舞できる会場づくりと、観客に楽しんでいただける環境づくりを心がけたいと考えています。

写真撮影については、最近、多様な形で撮られる方も増えていらっしゃいますので、「カメラマンさんの皆さまへのお願い」をまとめました。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

- 多くの方に観覧していただけるように、場所を確保した状態での離席はご遠慮ください。
- 主に撮影を目的にご来場のカメラマンさんは、観客最前列の確保はご遠慮ください。
(お祭り公式カメラマン・チーム付きのカメラマンは除く)
- 頭の高さから高い位置で三脚等を利用しての撮影は、最後列で、安全に気をつけてお願いします。
- 出演者が演舞終わった時はぜひ拍手のご協力をお願いします。
- 出演者のプライベート(食事中、メイク中、着替え中など)の撮影はご遠慮ください。
- 横浜よさこい祭りの会場は、観光地での開催のため、観光客が多くいらっしゃいます。一般的な常識の範囲内での、撮影をお願いいたします。

—詳細情報—

<見分け方>

- 公式カメラマン(ビブス着用)
- 登録ボランティアカメラマン(スタッフジャンパー着用)
- チーム付きカメラマンの撮影(撮影証着用)

<演舞形態>

●チーム演舞

- ①チーム付きカメラマンさんの撮影が優先です。演舞スペース内での撮影が可能です。
- ②公式カメラマンも祭りの記録として、次に優先されます。
- ③登録ボランティアカメラマンは、ステージ外枠から撮影です。

●フィナーレ演舞

- ①公式カメラマンが祭りの記録として優先となり、会場内を動いて撮影が可能です。
- ②登録ボランティアカメラマンも祭りの記録ご協力をお願いします。
ステージ外から定点での撮影をお願いします。
- ③チーム付きカメラマンは、ステージ外からの定点撮影をお願いします。

カメラマンさん、観客、踊り子、ボランティアスタッフ、それぞれの立場で、祭りを楽しみ、協力いただき一緒に祭りを作っていけたらと思います。
よろしくお願いいたします。